

平成28年度 部局の実行計画一覧(確定版) [附属図書館関係箇所のみ]

平成28年5月12日

中期計画番号	中期計画/年度計画/部局の実行計画	担当理事/担当部局	達成指標
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置			
1 教育に関する目標を達成するための措置			
(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置			
008	2) 教育環境の整備に関する具体的方策 教育の質的転換を推進するために、アクティブ・ラーニング教室並びに学生及び教員の自発的な学修、研修を実施するラーニング・コモンズやティーチング・コモンズ施設を全学的に整備し、活用する。	教育・学生担当理事	アクティブ・ラーニング教室が整備され、活用されている。
	① 全学教育機構及び附属図書館は、アクティブ・ラーニング教室やラーニング・コモンズ、ティーチング・コモンズの設置・利用状況を調査し、必要な整備・拡充を行う。	教務課	・アクティブ・ラーニング教室やラーニング・コモンズ、ティーチング・コモンズの設置・利用状況が調査され、必要な整備・拡充が行なわれるとともに、活用策が講じられている。
	② アクティブ・ラーニング教室やラーニング・コモンズ、ティーチング・コモンズの設置・利用状況を調査し、必要な整備・拡充を行なうとともに、活用策を講じる。	附属図書館	・アクティブ・ラーニング教室やラーニング・コモンズ、ティーチング・コモンズの設置・利用状況が調査され、必要な整備・拡充が行なわれるとともに、活用策が講じられている。 【根拠資料】 ・AL教室、LC、TCの設置利用状況と活用策
(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置			
017	4 キャリアガイダンスを充実させるとともに、正課外における就職活動支援策を強化し、第3期中期目標期間の平均就職率を第2期中期目標期間よりも向上させる。	教育・学生担当理事	・平均就職率(A)が第2期中期目標期間を上回っていること ・全学部で実施されていること
	④ 学生の就職活動を支援するため、キャリアセンター等と連携して、関連する図書等を附属図書館に整備する。	附属図書館	整備図書一覧
2 研究に関する目標を達成するための措置			
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置			
022	2) 研究成果の社会への還元に関する具体的方策 1 環境・防災、エネルギー、食料、感染症等の地球規模の課題解決に資する研究を推進し、研究成果を広報するプレスリリース数を第2期中期目標期間の最終年度より10%増加させる。	研究・社会貢献担当理事	・研究実績、受賞実績が増加している ・広報実績(プレスリリース数)が10%増加している
	① 本学の強み・特色を活かし、環境・防災、エネルギー、食料、感染症等の地球規模の課題解決に資する研究を推進する。	研究協力課	・地球規模の課題解決に資する研究成果
	④ 研究成果の社会への発信を支援するため、本学の研究成果を機関リポジトリに登録して情報発信する。	附属図書館	機関リポジトリ登録件数
3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標を達成するための措置			
036	2) 教育研究の成果を地域社会に還元する目標を達成するための具体的方策 4 教員養成系学部の卒業生に占める教員就職率を第3期中期目標期間中に80%確保するために、教員養成に特化した組織を設置するとともに、アドミッション・ポリシーの明確化と広報活動の徹底、教員就職支援を強化する。	教育・学生担当理事	教員就職率80%
	① 平成28年度に設置した教育学部について広報活動を更に徹底し、アドミッション・ポリシーの周知を行う。 また、就職支援の強化として、教員採用試験対策講座、教員採用対策プロジェクトの実施、常勤講師就職支援を充実し、教員就職支援を行う。	教育学部	・教員就職率60%を目標とする
	④ 教育学部学生の学習を支援するため、教育学部と連携し、教職関連図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	整備図書一覧
4 その他の目標を達成するための措置			
(1) グローバル化に関する目標を達成するための措置			
1) 教育のグローバル化に関する目標を達成するための具体的方策			
039	2 第2期中期目標期間の平均より交換留学生の受入れ人数を20%、短期留学生の受入れ人数を30%増加させるために、佐賀大学独自の魅力ある受入れプログラムを構築するとともに、外国人留学生のための経済支援、住環境整備や就職支援などの受入環境を充実させる。	教育・学生担当理事 研究・社会貢献担当理事	・交換留学生の受入れ人数 ・短期留学生の受入れ人数 ・魅力ある受入れプログラムの構築状況 ・受入環境の充実度
	① 佐賀大学独自の魅力ある外国人留学生の受入れプログラムを構築するため、日本人学生・外国人留学生双方プログラム等も視野に入れ、受入れプログラムの現状の検証を行い、既存のプログラムの改善や新規プログラムの構築に向けた準備を行う。	国際課	・受入れプログラムの検証・準備 ・交換留学生及び短期留学生の受入れ状況(第2期中期目標期間の平均値からの伸び率)の検証
	④ 外国人留学生を支援するため、国際交流推進センター等と連携して、関連図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	整備図書一覧
040	3 海外留学派遣者数を30%増加させ活性化させるために、学内外の各種支援制度の利用を推進するとともに、国際交流推進センターを中心としたサポート体制を充実させる。	教育・学生担当理事 研究・社会貢献担当理事	・海外留学派遣者数 ・学内外の各種支援制度の利用状況
	① アジアを中心とした協定校との派遣プログラムの実施を推進するとともに、海外志向の国際教育プログラムの構築に向けた検証・準備、留学促進のためのサポート制度の再整備を行う。また、国際交流推進センターの体制拡充も検討し、組織改革(整備)に向けた準備を行う。	国際課	・国際教育プログラムの検証・準備 ・留学促進のためのサポート制度の再整備 ・センターの体制拡充の検討 ・海外留学派遣者数(平成24年度～平成26年度の3年間の平均値からの伸び率)の検証
	④ 海外留学支援のため、国際交流推進センター等と連携し、関連図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	整備図書一覧
(2) 附属病院に関する目標を達成するための措置			
047	3) 医療人育成に関する目標を達成するための具体的方策 1 卒前、卒後を含めた一貫した医師、看護師の教育制度を充実し、地域医療を支える良質な医療人を育成し、医師の地域定着率を6年間で5%向上させる。	企画・総務担当理事	医師の地域定着率
	① 医学科では、臨床実習における経験(症例数・医行為)を記録する実習ノート(仮称)の作成に向けて調査・検討を行い、原案を作成する。 また、選択コースの地域枠入学生特別プログラム科目の対象学年を拡充する。 地域で従事する看護師に対し、看護学教育研究支援センターにおいて実施する看護学継続教育の充実としてeラーニングの導入や研究支援の充実を通して、これを大学院進学への拡充につなげる。	医学部総務課	・検討状況 ・拡充状況 ・eラーニングの導入状況
	④ 看護学継続教育を支援するため、看護学教育研究支援センターと連携して、医学・看護学図書の貸出を試行する。	附属図書館	貸出冊数

中期計画番号	中期計画/年度計画/部局の実行計画	担当理事/担当部局	達成指標
Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置			
2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置			
063	2) 人件費以外の経費の抑制に関する目標を達成するための具体的方策 1 光熱水等の使用量を第2期中期目標期間の最終年度より床面積当たり3%削減するために、佐賀大学環境方針の取組を踏まえ、省電力設備であるLED照明設備及び高効率空調設備への更新などの省エネルギー対策を実行する。	企画・総務担当理事	第2期中期目標期間最終年度の光熱水等使用量の3%減
	① 光熱水量等の平成27年度実績を踏まえ、経費削減計画を策定し、管理的経費を削減する。	財務課	・経費削減計画が策定されている。 ・光熱水等の使用量が1%削減されている。
	② 光熱水量等の平成27年度実績を踏まえ、経費削減計画を策定し、管理的経費を削減する。	附属図書館	・削減計画の策定 ・削減報告書の作成
Ⅴ その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置			
3 法令遵守等に関する目標を達成するための措置			
071	1 大学活動全般、学内規則を含めた法令遵守に関する啓発活動等の取組及び研究活動における不正行為や研究費の不正使用の防止のために、対象者全員にeラーニングを活用した研究倫理教育などのコンプライアンス教育等を実施する。	企画・総務担当理事	・実施計画書の作成 ・コンプライアンス教育対象者の受講率100% ・研究倫理教育計画の策定、倫理教育の実施、計画及び実施状況の検証
	① 法令遵守について、現在の「法令遵守のための実施要領」等の見直しを行うなど、内部統制環境の充実に関して検討するとともに、研究活動における不正行為や研究費の不正使用防止については、eラーニングを活用したコンプライアンス教育等を実施する。	総務課	① 法令遵守に関する体制等の見直し状況。 ② 研究費不正使用防止に関するeラーニングによるコンプライアンス教育の受講状況。(対象者全員) ③ 研究費不正使用防止に関するeラーニングによるコンプライアンス教育コンテンツの改善されている。 ④ 研究倫理教育責任者(部局長)単位で、研究倫理教育計画が策定されている。 ⑤ 全学的及び各部局において、対象者(研究者及び研究支援者)に対する研究倫理教育(eラーニング等)が実施されている。 ⑥ 研究公正委員会により、研究倫理教育計画の策定状況及び計画に基づく実施状況が確認されている。
	④ 災害、事件・事故等に備えるため、防災訓練や学習会等を実施する。	附属図書館	防災訓練や学習会等の実施状況
072	2 情報セキュリティ上の脅威となる事象・事故への対応、分析、予防等を行う専門チーム「佐賀大学版CSIRT」を設置し、継続してその機能を強化する。また、情報の取扱いに重点をおいた情報セキュリティ教育を、eラーニングを活用して全教職員に対し継続して実施する。	企画・総務担当理事	佐賀大学版CSIRT設置 教職員の受講率が100%であること
	② 初任者研修やeラーニング教材を用いて、教職員・学生への情報セキュリティ教育を継続して実施する。	情報管理課	① 教職員の80%以上が講習を受講している。 ② ほぼ全ての初年次学生が講習を受講している。
	② 各部局等は、教職員の情報セキュリティに関する意識の維持向上を図るため、総合情報基盤センターが実施するeラーニング講習の受講状況を把握し、改善する。	附属図書館	・教職員の80%以上が講習を受講している。